

## 安永 路子（特別賞）

大正九年熊本市生まれ

歌人（日本文芸家協会々員、現代歌人協会々員）

書家（毎日書道展審査会員）



熊本県女子師範学校卒業後、第二高等女学校・熊本師範学校女子部で教職に就く。（昭和二十四年まで）。

- ・昭和二十九年 「椎の木」編集、歌を作り始める。
- ・昭和三十一年 「棕櫚の花」により第二回 「角川短歌賞」を受賞。
- ・昭和三十四年 歌雑誌「極」同人。
- ・昭和三十七年 「魚愁」により『第四回熊日文学賞』を受賞。
- ・昭和五十一年 読売歌壇選者。
- ・昭和五十三年 熊本県教育委員。
- ・昭和五十五年 「蝶紋」により『第十三回熊本県文化懇話会賞』を受賞。
- ・昭和五十六年 日本書道美術院役員最高賞梅華賞受賞。
- ・昭和六十年 熊本県教育委員会委員長。
- ・平成三年 第十歌集「冬麓」により第二十五回『迢空賞』（角川文化振興財団主催）

この賞は、折口信夫の歌人としての筆名釈迢空の名による歌壇の最高の賞として当年最高の歌集に贈られる。

中国のシルクロード旅行詠を中心にした「冬麓」では、「築き上げた歌の世界と作品が響き合い、見事な昇華を示している」と安永短歌の芸術的達成が評価されている。